

第4回日メコン経済大臣会合 共同メディア声明(仮訳)
(2012年8月30日、シェムリアップ(カンボジア))

1. 第4回日メコン経済大臣会合は、ミャンマーのティン・ニン・ティン国家計画・経済開発大臣と日本の枝野経済産業大臣との共同議長の下、カンボジア・シェムリアップで2012年8月30日に開催されカンボジア、ラオス、タイ、ベトナムそれぞれの商業大臣及び代表者、アセアン事務総長が出席した。
2. 閣僚は、タイ・ラオス国境間における第3メコン橋の完成、越境交通協定に基づくカンボジア・タイ二国間の相互乗り入れ権の開始を含む、メコン地域経済回廊開発の一環として日メコン経済産業協力イニシアティブ行動計画が着実に実行されていることを歓迎した。
3. 日本貿易振興機構(JETRO)からメコン地域における日系・地場企業の最新の改善ニーズや事業戦略を含む「メコンビジネス・ニーズ調査2012」の主要結果について報告がなされた。閣僚は、メコン地域、主にCLM諸国への生産ネットワークの拡大を把握するなど調査の大きな成果を歓迎した。また、閣僚は、ミャンマーで進行中の国内制度改革等ビジネス環境の変化及び産業界の実需と戦略を踏まえ、安定したエネルギー供給のための様々なプロジェクト、ネアックルン橋及びカイメップ・チーバイ国際港の建設等の優先事業のために資源を有効に活用していくことの必要性を再確認した。
4. それを踏まえ、閣僚は、第5回日メコン産業政府対話での議論を評価し、「MJ-Cl行動計画に基づくメコン開発ロードマップ」を採択した。ロードマップは、2015年までの明確なタイムラインを示した三つの柱(ハードインフラ開発、貿易円滑化、産業協力)で構成されている。閣僚は、ロードマップを定期的にレビューし、またその主要な進捗を日メコンサミットへ報告することにつき合意した。
5. 閣僚は、メコン地域における自由貿易協定(FTAs)の活用に関するセミナー・ワークショップの開催、メコン地域における送電網強化、CLM諸国での発電所開発、ティラワ経済特別区(SEZ)開発及びメコン地域における産業発展戦略の策定を含む、MJ-Cl行動計画に追加で含めるべき事項について合意した。
6. 閣僚は、ダウエイ開発事業につき、「東京戦略2012実施のための行動計画」に基づき、取り組みを加速化するため、日アセアン経済産業協力委員会・西東回廊開発ワーキンググループ(AMEICC WEC-WG)の下に検討・実施の枠組を設置し、開発プロセスの調整及びレビューをミャンマー、タイ、日本三カ国の枠組みで行うことを提案した。
7. 閣僚は、特にハードインフラ開発と貿易円滑化に関する取組については、アセアン及び東アジア地域における様々なイニシアティブである、アジア開発銀行メコン地域経済協力プログラム(ADB-GMS)、アセアン連結性マスタープラン、アジア総合開発計画、アジア・カーゴ・ハイウェイ構想等と密接に連携して実施すべきであることを強調した。また閣僚は、CLMV経済協力、CLVトライアングル開発協力などの地域的な協力枠組みとの更なる協力の必要性を再確認した。

8. さらに閣僚は、AMEICC WEC-WG の下で、引き続き日メコンの産業界・政府機関・国際機関と密接に連携しながら、ロードマップ及び MJ-CI 行動計画に追加で含まれた事業を重点的に実施していくことを確認した。

閣僚名簿

1. チャン・プラシッド・商業大臣(カンボジア)
2. 枝野幸男・経済産業大臣(日本)
3. ナム・ウィヤケート・商工大臣(ラオス)
4. ティン・ナイン・ティン・国家計画経済開発大臣(ミャンマー)
5. アーコム・トゥームピッタヤーパイシット・国家経済社会開発庁長官(タイ)
6. グエン・カム・トゥ・商工副大臣(ベトナム)
7. スリン・ピッサワン ASEAN 事務総長